

2月20日：小金井宮地楽器ホール

三多摩国民春闘総決起集会

三多摩春闘共闘25スローガン

動けば変わる 声をあげよう！あなたの想いを！

- 東京土建、都教組、医労連、JMIITUがそれぞれ上記についてアピールしました。
- 私たちが都教組は、各支部の代表が、以下の内容を訴えました。
- 1 「どの子ども大切に！教え子を再び戦場に送らない！」平和と民主主義を！
- 2 教員不足のため代替えがなく逼迫、今こそ国の責任で定員増！
- 3 学校統廃合が進んでいる！学校をコストカット対象にするな！
- 4 ロシアのウクライナ侵攻から3年、パレスチナでハマスとイスラエルが戦禍を交えて1年4ヶ月が経ちました。アメリカ第一主義を掲げる



- 5 5年間で43兆円も無駄に費やすのではなく、核兵器禁止条約に署名・批准し、国連憲章に従い、戦
- 新大統領が利害関係で戦争を終わらせようと介入しています。国際法を基に真の平和もたらす解決を！

北多摩西ニュース

No.9

国分寺市光町1-40-12
Tel 042-576-1161(代)
Fax 042-575-0529
E-mail: kitanisi@crux.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://kitanisi.org/>
東京都教職員組合
北多摩西支部情宣部

全教職員配布

一方的な学校統廃合や複合化はやめて！

現在東村山市では、地域住民や、こどもたちの声を聞かず、マネジメント課を中心に学校の統廃合だけでなく、複数の公共施設を、経営を民間に任せ(PFI)学校敷地内に移転させようとしています。

東村山全体のとり組みとして教職員総決起集会とビラ全戸配布に取り組みます。



- とり組み① 決起集会 3月22日(土) 10:00 東村山中央公民館
基調報告：菅原 考える会の報告：濱野秀樹さん
東京都の動き：尾崎あや子さん
- とり組み② 全戸配布ビラ 3月29日(土) 10:00~15:00
報告：菅原副委員長 全戸数(約5000世帯)
配布地域：富士見小、一中学区

主催/都教組北多摩西支部 協力/東村山の学校統廃合問題を考える会

争を放棄し、憲法9条を守り抜きます！子どもたちに平和な明るい未来を受け継がせるために都教組は全力を尽くします。

トークリレーで訴えました。最後に会場の皆さんに感謝の意を表し、全支部全員で『ツバメ』を子どもと一緒に歌いしました。(写真)

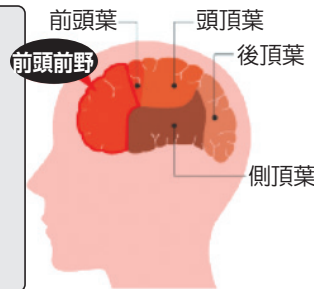
学校の窓

「おはようー」「おはようございます」暫く暖かい日が続いて安心していましたが、寒波到来。北風に思わず首をすくめる通学路です。▼「寒いね」「うん」と答えると同時に回れ右をして走り出そうとする一年生。「どうしたの?」冷たい手を出して「手袋、お家に忘れた」「お家どこ?」「バス停の向こう」「学校に行くほうが近いし、一年生が帰る時間は暖かだよ。」「うん」納得できない顔。▼「そうだ、先生が魔法を教えてあげる。」「手を出して!グーパ、グーパ!」足は右左右左!「すれ違っ四年生が怪訝な顔をして「先生何してるの?」「暖かくなる魔法!」「嘘だ」と言いながら手を開いたり閉じたり真似しています。次に会った六年生には、こっそりウイソクをして一緒に歩き学校に到着。小さなかわいい手は、ホカホカ温かくなったようです。▼校門の横ではこるび始めた白い梅の花が迎えてくれました。三寒四温。春はそこまで来ています。(M.S)

北西教育センター 学習会

デジタル機器と子どもの健康 ～スマホ・タブレット学習を考える～ 影響について体や脳のメカニズムを学びました

- 前頭前野の働き**
- 考える
 - 行動や感情をコントロールする
 - コミュニケーションをする
 - 記憶する
 - 応用する
 - 集中する
 - やる気をだす



前頭前野への影響大

2月14日(金)北西教育センター主催の学習会「デジタル機器と子どもの健康～スマホ・タブレット学習を考える～」が開かれました。

講師の高瀬久乃さん(都教組養護教員部部長)は、体や脳への影響を、参加者の意見を交えながら、資料を使って分かりやすく説明してくれました。

視力低下や姿勢の悪化による体への影響、脳(心)への影響を、そのメカニズムとともに説明がありました。

脳(心)については、前頭前野への影響が大きく、以下の指摘がありました。

- デジタルで見たものは、身にならない。本の内容も、紙の本を読んだ方が内容を覚えている。
- 経験したことが、前頭前野を発達させる。(なので、脳の中でも一番最後に発達する。)
- デジタルで調べたものは、タブレットが覚えてくれているので、自分で覚えようと思わない。↓記憶力の低下を招く。

スマホの長時間使用

《参加者の感想から》

●脳や身体全体、心への影響に関して疑問に思っていたことのメカニズムが聞けてよかった。「だからこうなっているのか……」という思いです。どうしたらいいのかというのがなかなか見えてこないのがつらいところ。タブレットを越えるものは基本的にはタブレットやスマホを手にする前にたっぷり与えられていないといけないんだろうなと思う。(後略)

●脳や体の影響が深刻になっていることがよく分かった。いろいろな学校の様子が分かっておもしろかった。子どもの心や体の発達について、子どもも私たち教職員もみんなで学んで(健康教育)、この状況に対抗していきたい。

●経験したことが前頭前野を発達させる。これを糧に図工では手のいろいろな動きができるように実物を使ったりさまざまな材料をふれさせたいと思った。



●依存症

●集中力の低下

●精神不安定

●便利なデジタル機器とこれからどうつきあっていくのか、子どもも私たちも、今後の大きな検討課題となりました。

オンラインで受検手続きは簡単になったのか?

～「進路状況調査」にご協力ください～

高校入試の制度などについて、都教組は東京教育連絡会とともに毎年要請を行っています。

要請に向けて、毎年主に以下の点を中学校の担当の方に聞いています。

●3月3日(月)時点で、進路先が決まっていない生徒の数。

●進路事務などで混乱したことや改良を望むことなど、都教委への要望・意見。

進路事務に関わる問題点などを都教委へ訴える機会ともなります。ぜひ今年度の状況をお聞かせください。



業績評価の開示請求を進めよう!

申請期間/2月下旬(市町村によって若干異なる。申請後、校長、副校長同席で開示が行われます。納得がいかない場合は面接が行われます。場合によっては苦情申し出ができます。

総合で“D評価”の方は校長から呼び出されますが、それ以外の方は本人からの申し出がない限り何も知らされません。1度D評価されると次年度2号昇級、2年連続だと1号昇級、3年連続D評価は、昇給なしになります。(通常は4号昇給)

不当評価を許さない事前のとり組みとしても必ず開示請求しましょう。